

新見工業が  
新中期中計

# 連結売上560億に設定

## DC、産業空調で攻勢

新見工業は8日、2024年度からの3カ年中期経営計画「move・2027」を公表した。24年度末を目標に進めている現行の4カ年中期経営計画の連結営業利益が、1年前倒しで達成できる見通しとなり、さらには戦略的に取り組むデータセンター（DC）や産業空調の市場展開で、攻めに転じる局面を迎えたと判断し、新たに策定した。

中期目標として、最終26年度に当たる27年3月期の連結売上高は、23年3月期に比べ25%増の560億円（24年3月期見込みから60億円増）、連結営業利益は43%増の86億

円（15億円増）と設定。ROE（自己資本利益率）10%以上、配当性向50%などの目標も掲げた。

これを達成するため、既存市場でのさらなる収益性向上と新市場での挑戦を推進。グループ力でDCなどの成長分野を拡大していくことや、AHU（空気調和機）単体から空調工事・保守を含めた提案領域への対応などを進める。

3年間の投資額は135億円に拡大する。このうち成長領域・新事業には、M&A（企業の合併・買収）投資枠30億円を含む48億円を投じ、蓄エネ・水素冷却の新規市場

開拓などに取り組む。生産能力増強などの既存事業・基盤強化には87億円を投じる。